

今月号に掲載の講座一覧は、市ホームページでもご覧いただけます。詳細情報やチラシを掲載している講座もありますので、ぜひご確認ください。



柳沢公民館	柳沢1-15-1	☎042-464-8211	kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp	谷戸公民館	谷戸町1-17-2	☎042-421-3855	yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館	南町5-6-11	☎042-461-1170	tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp	ひばりが丘公民館	ひばりが丘2-3-4	☎042-424-3011	hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館	芝久保町5-4-48	☎042-461-9825	shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp	保谷駅前公民館	東町3-14-30	☎042-421-1125	ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

戦争と平和について考える

毎年4月12日は「西東京市平和の日」です。昭和20年のこの日、1トン爆弾が田無駅前、保谷町などに多数投下され100人以上の方が亡くなりました。こうした惨劇が繰り返されないよう「西東京市平和推進に関する条例」の中で定められています。

ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、公民館では戦争と平和について考える事業を行ってきました。今号では昨年度に実施したもののから2事業について報告します。

谷戸公民館主催 暮らしを豊かにする教養講座
令和4年10月23日、
11月5日、11月12日実施
「音楽×平和」

コロナ禍で街から音が消え、戦火で音楽どころではない時代からこそ、音楽の大切さに気付かされました。「音楽×平和」は音楽をつくる人たちの想いを聴く講座です。

第1回 OKINAWA×音楽

宮古島出身の音楽学者友利修さんは、「沖縄の文化や音楽が異国のように感じられるのは、沖縄は日本でもなく中国でもない海洋貿易の独立国の歴史を持っていったから」と語ります。

三線奏者豊岡マッシーさんは沖縄復帰50周年に「タカラぬシマ」を発表しました。「今でも沖縄人という絆は日本人というよりも意識します」。太平洋戦争後、米軍占領下では伝統音楽に加えて、米軍がもたらした本場のロックが独自のダンスパブルな音楽を作ってきました。復帰後は日本の音楽シーンを席巻します。一方で、島唄や舞踊も世代を超えて愛され、複合的な文化は「OKINAWA」の今を表しています。「音楽は沖縄が背負われた歴史を表しています。そしてその歴史は終わっていないのです」。

第2回 音楽家×平和

アカデミー賞作曲家の住友紀人さんは《沈まぬ太陽》や《アンフェア》など多くの映画やテレビ音楽を作曲してきました。受験の失敗がきっかけで、ジャズに憧れバークレー音楽大学へ旅立った背景には、画家としての将来を戦争によって絶たれた祖父への想いがあると言います。「戦争は命だけでなく、その次の世代の夢まで奪ってしまふ。私は祖父や両親の分までたくさん新しい音楽をつくり、戦争のない自由で平和な世界を守りつづけていきたい」と語ります。

住友さんは、ドラマ《ナイフの行方》のテーマ曲をソプラノの住友里奈さんと親子初共演で演奏しました。重い過去を背負う初老の男が、自暴自棄に生きる若者と出会い葛藤し、新たな家族を持つドラマと共鳴するこの曲は、親子の絆の確認でもあり、世代を超えた生き方を訴えるものでした。

第3回 ハープ×癒し

日本では珍しい中世ハープ奏者、小坂理江さんは語ります。「音楽は人と人の架け橋となり、傷み欠けた心の癒しになります。中世のハープは、和音を奏でることから、世界の秩序を調和し、人の心の揺らぎも調和させる楽器でした。聖書にも登場するハープは、後には貴紳・貴婦人の愛好する楽器となりました。

その音色はたおやかで繊細、耳を澄ませれば聴こえてきません。「静寂の中の一筋の光のような弦の音に魅せられてハープを始めました。その響きは《弦のおと Son das Cordas》で体験できます。「心の癒しは、静ひつに耳を澄ますことから得られます。ハープを奏でること、自分の心に問いかけること、もしません」。

参加者の感想

「沖縄を単なる観光地ではなく独自の素晴らしい国ということとを理解できた」、「芸術は平和に必要。人間がこんなに愚かなのかと思う。戦争は避けられないものでしょうか」、「おだやかな音が体にしみ込む。響きの調和を人生に生かしていきたい」。久しぶりの生演奏を聴き感動したり、音色に癒されたりしながら、調和ある世界について考える講座となりました。



第3回 ハープ×癒し



第2回 音楽家×平和



第1回 OKINAWA×音楽

芝久保公民館主催 平和を考える講座
令和4年12月11日実施
「この町にも戦争があった」
〜戦跡フィールドワーク〜

芝久保公民館では例年「平和を考える講座」を実施しています。今年度は武蔵野地域の戦争の歴史を研究している牛田守彦氏を講師に迎え、講話と戦跡フィールドワークの形で開催しました。

参加者は幅広く、親子、祖母と孫、転入間もない家族など10〜80代の21人が集まりました。なぜ西東京市が激しい空襲被害を多く受けたのか？

西東京市は中島飛行機武蔵製作所(中島飛行機株式会社武蔵野製作所)と多摩製作所が、昭和18年に政府の指導により合併して誕生したエンジン組立工場)の北側に位置していたからです。日本の軍用航空機発動機の3割近くを生産した同工場は、米軍の日本本土空域における最大目標のひとつとなりました。そして米軍の未熟な空爆の技術と南から進入する飛行コースにより、特に工場の北側に位置する西東京市域に投下が集まることになったのです。中でも昭和20年4月の空襲被害は大きく、2日夜間空襲、7日、12日には1トン爆弾による空襲がありました。しかし、12日は春霞のため目標を大きく外れ、田無駅



講師による「戦災慰霊塔(平和観音)の説明を受ける参加者たち

「講座で話をきくだけでなく、戦跡を歩いて納得できることが多いと思った」、「墓誌の記録の順番に前後するものもあり、当時の社会事情がうかがえて感慨無量でした」、「ウクライナの現実を考えさせられた。軍需工場はとくに危険なことがわかりました。若い人に語り継いでくれることを望みます」。語り継ぐことの大切さや、平和の大切さを考える講座となりました。

参加者の感想

牛田講師とともに芝久保町周辺から田無駅周辺を巡りました。田無駅前の防空壕跡地の「平和のリング」や、「昭和20年4月12日・戦災死」と複製刻まれた墓石、犠牲者が安置された総持寺などを訪ね、西東京市にどんな悲劇があったのかを体感しました。「自分の足、自分の目で見て、肌で感じる。フィールドワークは戦争にリアリティを与えてくれる学びの方法だ」と講師は伝えました。

前や所沢街道の北原町、田無神社裏、保谷町などに落下し、西東京市域で大きな被害を出しました。犠牲者の多くが母親と子どもだった田無駅前には、空襲犠牲者を慰める「戦災慰霊塔(平和観音)」。現在は総持寺の山門脇に移設が、昭和31年に建立されました。平成8年3月には、空襲の被害を伝えるために防空壕跡地である田無駅前に「田無戦災記念碑」と「平和のリング」が設置されました。

フィールドワーク
①橋場交通安全地蔵
②被爆した柿の木があった場所
③総持寺(浄土宗)外佛堂(観音寺)
④田無小学校
⑤平和のリング
⑥総持寺です。

第35回 谷戸まつり

◆日時：4月29日土・30日日 9時半～16時
◆会場：谷戸公民館・谷戸第二小学校・谷戸小学校
(29日・30日) (29日のみ) (30日のみ)

～地域のきずな 笑顔の和 谷戸まつり～

谷戸まつりとは、谷戸公民館を拠点に活動するサークルや団体を中心に実行委員会を立ち上げ、地域の小中学校と連携して行うおまつりです。詳細は各公民館で配布しているプログラムをご覧ください。駐車場はありません。ゴミはお持ち帰り下さい。

オープニング 【谷戸公民館】

【29日土 9:30～】 田無第二中学校吹奏楽部
【30日日 9:30～】 田無卑弥鼓

発表・体験の部

【29日土：谷戸公民館 視聴覚室】〈各回30名〉
10:10～10:50 劇団ひげたろう／パペットシアターやん助(人形劇)
11:00～11:40 谷戸みんなよう会
11:50～12:30 新婦人コーラスすみれ
13:00～13:30 チェリーズ(トーンチャイム)
14:30～16:00 高齢者支援課(健康eスポーツ体験 65歳以上、定員20名)

【29日土：谷戸第二小学校 体育館】

10:30～11:00 田無第二中学校吹奏楽部
11:30～12:00 ひばりが丘中学校吹奏楽部

【30日日：谷戸公民館 視聴覚室】〈各回30名〉

10:00～10:45 HOYA HOYA club(琴)
11:10～11:40 絵本と語りの会
12:00～12:30 西東京ジュニア・ユースオーケストラ
13:00～14:00 西東京市練功十八法会(中国体操体験)

【30日日：谷戸小学校 体育館】

10:00～10:30 田無卑弥鼓(和太鼓)

展示の部 29日土・30日日

【谷戸公民館 学習室(サークル作品展示・団体紹介)】
中国水墨画龍の会／みどり会／りぼ～ん／NPO法人地球と共に生きる会／ルアナ自彊術サークル／NPO法人ラマーミトゥルの会／ボーイスカウト西東京第1団ビーバースカウト隊／個人参加(キルト)

【谷戸公民館 講座室(児童生徒作品展示)】

谷戸小学校／谷戸第二小学校
田無第二中学校／ひばりが丘中学校

イベント 【30日日：谷戸小学校 体育館】

午前の部：11:00～12:30
午後の部：13:30～15:30
①英語で遊ぼう、②ポッチャ体験、③吹矢体験、④謎解き
⑤お菓子つかみどり(サークルペチューニア／西東京吹矢クラブ／東京学芸大学有志／東京学芸大学附属国際中等教育学校有志)

いこい 【29日土・30日日：谷戸公民館】

たすけあいバザー／スーパーボールすくい／茶道体験(29日・中学生以下100円・大人200円茶菓子付)(立和会)／くす玉ワークショップ(田無第二中学校2年男子)／スリランカ・シンガポール料理(西東京市国際交流協会)／野菜・お花(西東京市地産地育の会)／焼菓子(社会福祉法人ウーノの会)

主催：谷戸まつり実行委員会

夏休み青少年ウィーク

ボランティア募集 「涼しい公民館で、スイスイ勉強」

谷戸公民館では、8月中旬に1部屋を小中高生のみなさんに自習室として1週間開放し、勉強の仕方や受験勉強を互いに教え合うことで、学力・知力・気力を伸ばす活動「勉強ウィーク」を行います。

この活動の準備・運営・教え合いに協力してくれる中学生、高校生、大学生、社会人のボランティアを募集します。まずはご連絡ください！

説明会(予定)

5月13日、6月10日、7月8日 土曜日 10時～11時半(予定)

事前準備会(予定)

8月上旬頃

場 谷戸公民館
申 4月3日(月)～7月7日(金)に電話かメールで谷戸公民館へ

公民館保育室 親子でプレ体験!!

保育付き主催講座やサークル活動に親が参加している間、お子さんが2時間を過ごす公民館保育室ってどんなところでしょうか？まずは親子で体験してみませんか。

対 市内在住の6か月以上就学前の乳幼児とその保護者

定 各8組(申込順)

申 4月4日(火)10時から電話で希望する公民館へ

時 10時～11時

※詳細については各館へお問い合わせください。

【日程】

谷戸	4月27日(木)
ひばりが丘	4月28日(金)
田無	5月9日(火)
芝久保	5月12日(金)
柳沢	5月17日(水)

サークルから 催し物案内

雅水会色鉛筆画作品展

雅水会

4月14日(金)～19日(水)／10時～16時(初日12時から最終日14時まで)／柳沢公民館

油絵同好会作品展

保谷油絵同好会

4月25日(火)～5月1日(月)／10時～16時(初日13時から)／柳沢公民館

サークルから 会員募集

フレンドリー俳句会

第3木曜日／13時～15時／障害者総合支援センターフレンドリー／月額1,000円

ラビットチーム(ストレッチ、球技)
毎週木曜日／9時半～12時／きらっと／月額1,750円

川柳 柳朗会
第2・4木曜日／13時～16時／谷戸公民館ほか／月額1,500円

イチョウ公園ラジオ体操会
毎日／6時半～7時5分／谷戸イチョウ公園／年会費1,000円

※金額の記載がないものは無料です。

6月1日号の原稿締め切りは、4月20日(木)です。



公民館保育室のよゆうす

オトナの女性の居場所づくり

保谷オトナ女子会は2018年保谷駅前公民館主催の女性講座「ひきこもり女子会の作り方」から発足しました。毎月第4木曜の午後、語り合いの会やメンバー企画の読書会、スキンケア講習、パステルアート体験などを開催し4年、孤独を感じる40代～50代の女性が安心して交流できる場となっています。西武池袋沿線にある近隣の男女共同参画センターと連携し、地元以外の団体とも関係を作っています。

コロナ禍で集まることができなくなりましたが、その間はチャットで交流を続け、コロナが落ち着きはじめた2020年の秋頃に会を再開しました。再開後に参加した女性は「先日は久しぶりに参加しました。参加前は緊張していましたが、みなさんといろいろ話してみても、年齢は違っても同じような悩みを抱えているんだ

など感じました」と話します。また、「コロナで孤立感は一層深まりましたが、保谷オトナ女子会という居場所に身を置いて人と話してみると、みんな同じような思いでこの災禍を過ごしていたことが共有できました」、「お金の直接的な支援ではないが、会の存在を知っているだけで心の支えになっています」という声もありました。

困難を抱える女性が一歩踏み出すための足場となることを願いながら、会は活動を続けています。



メンバーが講師となり、パステルアートを楽しんだ

現在会員募集中。お問い合わせは下記へ。(保谷オトナ女子会世話人 連絡先：)

おたのしみ川柳

この国でこたつに入り戦火観る
教えてヨ平和をなすに和乎だヨ
金魚鉢猫と金魚が覗めっこ

氏名・ペンネーム・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

6月号テーマ「ネット検索」

(「ネット検索」の文字を入れなくても構いません)

今月のお題「平和」

締切 4月25日(火)